

診断結果 判定&おすすめ

合計点で、いまの状態をざっくり判定します



【合計点の見方】

0～15点：

平熱安定タイプ

16～30点：

微熱注意タイプ

31～45点：

高熱警戒タイプ

46～60点：

要処方薬タイプ

1



0～15点 平熱安定タイプ

「コアラ型」

大きな問題はまだ表面化していません。今のうちに“見える化”と証憑整理を進めると、いざという時に強い会社になります。

+ おすすめ

- ✓ 常備薬として、基本資料の棚卸しを継続
- ✓ 人・モノ・金・情報の4視点で弱点確認
- ✓ 年1回はこの診断票で再チェック

2



16～30点 微熱注意タイプ

「キツネ型」

普段は回っていても、担当者依存や資料散在などの“見えにくい不安”が潜んでいます。今ならまだ立て直しやすい段階です。

+ おすすめ

- ✓ 属人化している業務を洗い出す
- ✓ 契約書・会計資料・資産情報の所在確認
- ✓ 常備薬シリーズの活用を開始

3



31～45点 高熱警戒タイプ

「ハリネズミ型」

複数の論点が同時に絡み始めています。放置すると、後から事実確認や証憑集めに大きな負担が出る恐れがあります。

+ おすすめ

- ✓ 優先順位を決めて論点整理
- ✓ 労務・税務・資産・原状回復の論点を個別確認
- ✓ 必要に応じて専門家へ早めに相談

4



46～60点 要処方薬タイプ

「ライオン型」

すでに“平時対応”だけでは厳しい可能性があります。状況整理と出口設計を急ぎ、関係者との認識合わせを進める段階です。

+ おすすめ

- ✓ まず全体像を整理し、何が足りないか見極める
- ✓ 本社説明用の材料を早めに準備
- ✓ 個別テーマの処方薬・面談活用を検討



おすすめ小冊子

- 常備薬（人・モノ・金・情報）
- 処方薬（労務・税務清算・合併・銀行/担保 など）
- 業界別の地雷/落とし穴シリーズ



ひとことメモ

気になった項目、社内で話したいこと、次にやることを書いてください。

.....
.....
.....
.....



※ 診断結果は目安です。大切なのは“点数”よりも、何が见えていないかに気づくこと。

再編・撤退 診断票

会社の“平熱”を測る20問セルフチェック

気軽にチェックしてみてください。深刻になりすぎず、でも見て見ぬふりはしない。

【採点方法】

各設問について、もっとも近いものを選んでください。

0点 = できている 1点 = やや不安 2点 = かなり不安 3点 = ほぼできていない
合計点を2ページ目で判定します。

1 人 0 1 2 3

- 1 キーマンが誰か、社内で共有できている ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3
- 2 ローカルスタッフ任せの業務が、見える化されている ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3
- 3 総経理・管理職が、必要情報を自力で確認できる ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3
- 4 退職・離職が起きても、引継ぎの見通しがある ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3

2 モノ 0 1 2 3

- 5 固定資産台帳と現物の整合が、おおむね取れている ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3
- 6 在庫の保管場所・数量・状態を把握している ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3
- 7 廃棄・売却・移設時に必要な証憑を意識している ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3
- 8 賃貸物件の原状回復条件を確認できている ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3

3 金 0 1 2 3

- 9 資金繰り・借入・担保の状況を説明できる ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3
- 10 未払金・未収金・仮払金などの整理状況を把握している ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3
- 11 税務清算で論点になりそうな項目を洗い出している ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3
- 12 追加費用が出やすい論点（労務・原状回復・廃棄等）を意識している ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3

4 情報 0 1 2 3

- 13 契約書・許認可・定款など重要資料の所在が分かる ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3
- 14 会計資料・発票・通関資料などの保管状況を把握している ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3
- 15 売上・仕入・在庫などの基本データを追える ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3
- 16 問題が起きたときに、事実関係をさかのぼって確認できる ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3

5 出口設計 0 1 2 3

- 17 売却・縮小・清算など、選択肢の違いを大まかに理解している ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3
- 18 相談すべき専門家や協力先を思い浮かべられる ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3
- 19 本社に対し、現地の実態を説明できる材料がある ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3
- 20 “いざという時”に、何から手を付けるべきか見当がつく ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3

※これは簡易診断です。点数が高いほど、整理・準備・見える化が必要です。